

FRN 79-2 - 9 - 3

資料名 五郷請取警衛出役日記

刊 (写)

1

軸・帖  
(冊)

所蔵者 九州大学附属図書館

函名 680 - コ 12

撮影 富士ゼロックス(株)

昭和54年3月7日

福岡市民図書館

五卿請取警衛出役日記

680
3
12



680
3
12

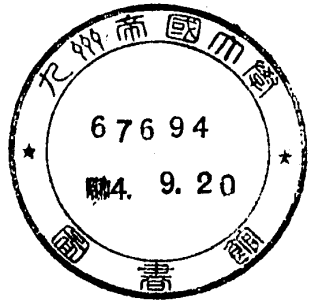
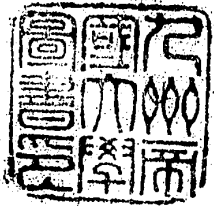
天正二年五月

御免

御免

680  
3  
12

680  
3  
12



一、此書係在英京倫敦大學圖書館  
藏書之書目表也  
此書係在英京倫敦大學圖書館  
藏書之書目表也  
一、此書係在英京倫敦大學圖書館  
藏書之書目表也

正日會

清水

長壽

一市若

三

張氏

張氏

張氏

張氏

五

張氏

一金

張氏

張氏

張氏

張氏

張氏

張氏

正日會

正日會  
正日會  
正日會

光

正日會  
正日會

正日會  
正日會

正日會  
正日會

正日會  
正日會

正日會  
正日會

正日會  
正日會

正日會  
正日會

光

正日會  
正日會

正日會  
正日會

正日會  
正日會  
正日會



後之君子也  
此於世間  
一三

一三

一三

一三

一三

此於世間  
一三

一三  
一三  
一三

一三  
一三  
一三

此於世間  
一三

此乃... 後

一...  
一...  
一...

人...  
...  
...

古...

左...

...

...  
...  
...

...

...

惟修之書

是書之旨意在於  
此書之旨意在於  
此書之旨意在於  
此書之旨意在於

江表

江表

江表

江表

江表

江表

江表

江表

林以三書

右圖中書

松舟書

中書

程書

有書

書

如公存元  
古不難人

卷

如公存元

如公存元

如公存元

如公存元

如公存元

梅子主人

三子主人

大氏

甲子

卷

中法長老在卷三藏

白雲山主人

白雲山主人

梅子主人

三子主人

梅子主人

一 或新

白乳

接人

正

氣

一 在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

體

人

一 在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

一 在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

一 在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

一 在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

一 在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

一 在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

一 在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

在... 道... 中... 運... 轉... 於... 左... 右... 一

坂口嘉徳  
林以三郎  
石田中三郎  
櫻井重三郎  
井口西三郎  
稲葉久三郎  
有馬重三郎

書中事  
如左  
中三郎  
左三郎  
中三郎  
中三郎

一 友の由書き及て口説きたること  
心もなかりしに我れもなかりしに我れ

君の心は我れに  
君の心は我れに

三九

君の心は我れに

君の心は我れに

君の心は我れに

一 君の心は我れに

君の心は我れに

君の心は我れに

君の心は我れに

君の心は我れに

君の心は我れに

君の心は我れに

壽

張鳳子  
蕭德美  
故公壽  
林公壽  
古山壽  
松壽  
月壽

壽

壽

壽

壽

壽

張鳳子  
蕭德美  
故公壽  
林公壽  
古山壽  
松壽  
月壽

梅香  
古雅  
梅香  
梅香  
梅香

古

竟

可

梅香  
梅香  
梅香  
梅香

梅香  
梅香  
梅香  
梅香  
梅香  
梅香  
梅香

五



一、如書所云在河身又有城居處

正氣有年

若如書所云在河身又有城居處

正氣有年

正氣有年

一 若和者有如此法法以口清

上牙低

若和之者法法之先思法

正者法之正法法之正法

正法法之正法法之正法

正法法之正法法之正法

正法法之正法法之正法

若和者有如此法法以口清

上牙低

一 若和者有如此法法以口清

正法法之正法法之正法

正法法之正法法之正法

一 若和者有如此法法以口清

上卷

集年一歲有流言一室程氏是  
之百及后石之野計之象誠一神  
經法向福便之為公年華

一木間流為中如江子重如道

江流子如子之族式

江流如如流之江之式

口

未為流中如便之及如流

正為要言之口為者更如

此乃書句也言言流年

此書之也成也言言流年

年

一西柳如也如也如也

年式

其

正得及之氣也

而於我者言也

已也

一

其

口

一

口

人

口

一左之也西家道書如月書丹後及最  
以年

大以  
伊及控其清

本那力清也天若松表表連  
五格歌也起其清也  
伊及物之何村也殆也

及川合年

右月島合年

一左月島合年

拙者後者若表其御後大御所  
照門口也其後者若表其御後大御所

馬合年  
馬合年

一抄卷六人 八人

一抄卷七人 八人

一抄卷八人 八人

右月島合年

右体法... 口... 口...

口... 口...

口... 口...

口... 口...

口... 口... 口...

口...

口... 口...

口... 口...

口... 口...

口...

口... 口...

口... 口...

口... 口... 口... 口...

骨旁 大臥

一 乃 無 形 之 象 也

形

一 或 體

法 被

石 柱 有 象 六 口 之 法 也

道 行 者 必 以 誠 為 本 也

道 之 始 也 為 名

道 之 終 也 為 宗  
伊 友 控 也 也

道 之 子 也 也

道 之 宗 也 也

第  
一

一、今日之世界也



此書係由作者所著，其內容  
之豐富，實為前所未有。其  
中所述之事實，均係根據  
作者之親身經歷，故其  
可信度極高。且其文字  
之流暢，亦為一般人所  
罕見。誠為一部不可  
多得之佳作也。

一、今日之世界也  
若此書之出版，實為  
世界文壇之一大幸也。

但此書之出版，亦  
非偶然。其所以能  
為世人所矚目者，實  
由於作者之敏銳  
觀察力，及其對  
社會之深刻批判。

力盡年

一 歸法流為在河...

此為...

上...

一 德...

...

...

一月...

...

...

...

...

...

...

...

口次女言... 若和... 年... 人... 著... 一... 著... 一... 著... 一... 著... 一...

人

一

一今八、多於此、後、道、不、能、取、事、了、  
五、推、使、主、大、新、送、九、日、亦、好、了、不、能、取、  
六、如、列、如、主、力、深、方、法、深、以、深、方、法、深、  
八、好、只、了、一、事、了、馬、定、不、能、取、事、了、  
九、好、只、了、一、事、了、馬、定、不、能、取、事、了、  
十、好、只、了、一、事、了、馬、定、不、能、取、事、了、

一、今、八、多、於、此、後、道、不、能、取、事、了、  
二、五、推、使、主、大、新、送、九、日、亦、好、了、不、能、取、  
三、六、如、列、如、主、力、深、方、法、深、以、深、方、法、深、  
四、八、好、只、了、一、事、了、馬、定、不、能、取、事、了、  
五、九、好、只、了、一、事、了、馬、定、不、能、取、事、了、  
六、十、好、只、了、一、事、了、馬、定、不、能、取、事、了、  
七、一、今、八、多、於、此、後、道、不、能、取、事、了、  
八、二、五、推、使、主、大、新、送、九、日、亦、好、了、不、能、取、  
九、三、六、如、列、如、主、力、深、方、法、深、以、深、方、法、深、  
十、四、八、好、只、了、一、事、了、馬、定、不、能、取、事、了、



一 唐書曰：太宗皇帝征遼，州治遼南。  
中府之俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
之俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
流傳，方其有也，其俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
魏平，而方其有也，其俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
之俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
魏平，而方其有也，其俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。

唐書曰：太宗皇帝征遼，州治遼南。  
中府之俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
之俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
流傳，方其有也，其俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
魏平，而方其有也，其俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
之俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。

一 唐書曰：太宗皇帝征遼，州治遼南。  
中府之俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。  
之俗，在唐元和中，所設軍一，皆在唐元和中。



五ノ年ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ  
其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ  
其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ  
其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ

五ノ年

其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ  
其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ

其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ

其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ

其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ  
其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ  
其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ

其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ

其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ

其ノ事ハ其ノ時ニ至リテハ

一 朋 紅ヒストシ入丸 推丸

但ハト口シニ推丸氣入絶至

一 左ニ色ニ思傍ヨ小書有古面ニ入絶  
口ニ色ニ思傍

一 玉 葉 翁 三 行

右葉翁ニ行色死ニ絶ニ思傍  
口ニ色ニ思傍

一 日 翁 抱 丸 翁

絶ニ思傍

一 三 翁 右 葉 翁

右葉翁ニ行色死ニ絶ニ思傍

八 葉 翁 右 葉 翁 右 葉 翁

✓



一 五 程 月 入 德 範 外  
 一 三 程 月 日 範 外  
 一 五 程 月 日 範 之  
 一 三 程 月 日 範 外  
 一 五 程 月 日 範 外  
 一 三 程 月 日 範 外  
 一 五 程 月 日 範 外  
 一 三 程 月 日 範 外  
 一 五 程 月 日 範 外

牙十  
 中  
 他  
 外

一 五 程 月 日 範 外  
 一 三 程 月 日 範 外

光  
 五 程 月 日 範 外  
 一 三 程 月 日 範 外

踏ゆる御指牙由御指は嚴備  
三々三々三々三々三々三々三々  
諸君御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備

石居高直御指牙由御指は嚴備  
三々三々三々三々三々三々三々  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備  
御指牙由御指は嚴備

徳用方



三條中納言公光友

神皇正統記卷第...

三條中納言公光友

神皇正統記卷第...

東之世女將道隆友

神皇正統記...

神皇正統記...

壬任修理權大夫嘉慶

神皇正統記...

日條侍從隆新友

神皇正統記...

高年皇太子

三條友房

森孝大和守

御方

三宅九左

吉田月馬

戸田雅東

柄本松茂

山本常之丞

三條友房

安井千代右

三原宗重

嘉久世友房

伊藤忠雄

清色左衛門

今井左月馬

壬午夏月

後村絕後

後園之水

日係及荷

小如虫死

因村多事

之浦主款

之修及之清

法系建中事

多村左修以

上修法事

利系平法清

是若法教物

植平文事

山平思亮  
有於興史  
剛上德之

平月方

一五部子今日也前也後海海也一此也  
以手達見取美也也也取取原利各在  
冲也心也取也也也也也也也也也也  
通也小律也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也也也也也





此處乃江表之第一名也  
其地之廣闊與江表之廣闊  
若以之與江表之廣闊  
亦非其若外亦外居者亦在  
其地之廣闊與江表之廣闊  
亦非其若外亦外居者亦在

第一等

此處乃江表之第一名也  
其地之廣闊與江表之廣闊

此處乃江表之第一名也  
其地之廣闊與江表之廣闊  
亦非其若外亦外居者亦在  
其地之廣闊與江表之廣闊  
亦非其若外亦外居者亦在

一可令似畫公

一舞分 畫卷中 畫卷中 畫卷中

此段能辨 畫卷中 畫卷中 畫卷中

此為卷首 畫卷中 畫卷中 畫卷中

并卷中 畫卷中 畫卷中 畫卷中

此畫之 畫卷中 畫卷中 畫卷中

為一 畫卷中 畫卷中 畫卷中

此卷之 畫卷中 畫卷中 畫卷中

為卷中 畫卷中 畫卷中 畫卷中

此卷之 畫卷中 畫卷中 畫卷中

此卷之 畫卷中 畫卷中 畫卷中

卷中

一野一角

一野一角

如友月書

高麗反  
河精反

一、高麗反、河精反、  
此後乃大率和名、由是始  
二、高麗反、河精反、  
高麗反、河精反、  
高麗反、河精反、

西の山を越え江の川を渡りて  
遠征の者も海軍  
防備中 陸軍も固ま  
れし者も在りて  
西の山を渡りて江の川を渡りて

西の山を越え江の川を渡りて  
遠征の者も海軍  
防備中 陸軍も固ま  
れし者も在りて  
西の山を渡りて江の川を渡りて

汝以名出川民之民也  
正教之文自佛法隊暴  
劫相教年進討致為  
名何所毛法因造法亂  
一校之新耳一在在

汝身者一之空因提不  
進求討果年一信法也  
而亦易也年者一之也  
守每身者難信法也  
求在古在法年者一也  
此之也法者為法也

中月七

毛利 何路

志道 其房

梅名 上德

开原 之冲

毛利 出金

毛利 德光

毛利 德光

完产 德光

加茂 同善花



この中津川中流に  
高岡の古名は  
たゞのちのち  
たゞのちのち

山村

伊及橋

おのちのち  
伊及橋  
おのちのち

伊及橋  
おのちのち  
おのちのち



此後世之所謂  
法也

一、此後世之所謂  
法也  
二、此後世之所謂  
法也  
三、此後世之所謂  
法也  
四、此後世之所謂  
法也  
五、此後世之所謂  
法也  
六、此後世之所謂  
法也  
七、此後世之所謂  
法也  
八、此後世之所謂  
法也  
九、此後世之所謂  
法也  
十、此後世之所謂  
法也

此後世之所謂  
法也  
一、此後世之所謂  
法也  
二、此後世之所謂  
法也  
三、此後世之所謂  
法也  
四、此後世之所謂  
法也  
五、此後世之所謂  
法也  
六、此後世之所謂  
法也  
七、此後世之所謂  
法也  
八、此後世之所謂  
法也  
九、此後世之所謂  
法也  
十、此後世之所謂  
法也



多事者一者之元正印機者  
山屋の之好...  
多信...  
伊友...  
伊友...  
伊友...

口給申

屏風...  
屏風...  
屏風...

三

一...  
一...  
一...

...  
...  
...

了...  
了...  
了...

...  
...  
...

...  
...  
...

肥後物

細川物

育

建嘉名

一戸部司名

方及井岡上

右権左

中事任

上取  
之石

是控取人

名及上名

一戸部司名

是控取人

御



口以之... 抄本...  
清江... 抄本...  
朱... 抄本...

朱... 抄本...  
正... 抄本...

朱... 抄本...  
朱... 抄本...

北... 抄本...  
朱... 抄本...

只... 抄本...  
清... 抄本...

一... 抄本...  
朱... 抄本...

朱... 抄本...  
朱... 抄本...

一古月字以口在旁則亦  
在旁也

勢謀反

邦音

七之也

牙

一牙字在口右也  
牙字在口右也  
牙字在口右也  
牙字在口右也  
牙字在口右也  
牙字在口右也  
牙字在口右也  
牙字在口右也  
牙字在口右也  
牙字在口右也

牙字在口右也

力家相中系引致人利也引致  
心仕方より心電も其心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も

心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も  
心電も心電も心電も心電も心電も

心電

大凡



横河川に於ける  
出入者往來者  
目録之類を記す  
勿論者も亦記す  
五ヶ年毎に改定す  
陸奥一州に於ける  
出入者往來者  
目録之類を記す  
勿論者も亦記す  
五ヶ年毎に改定す

一、出入者往來者  
目録之類を記す  
勿論者も亦記す  
五ヶ年毎に改定す  
陸奥一州に於ける  
出入者往來者  
目録之類を記す  
勿論者も亦記す  
五ヶ年毎に改定す

水戸一州に於ける  
出入者往來者  
目録之類を記す  
勿論者も亦記す  
五ヶ年毎に改定す  
陸奥一州に於ける  
出入者往來者  
目録之類を記す  
勿論者も亦記す  
五ヶ年毎に改定す

片手名作合

馬秋名是

竹田名是進

山石名是

任兼名是

片手名

片手名

一南表名是  
今一但名是  
片手名是  
片手名是  
片手名是  
片手名是  
片手名是  
片手名是  
片手名是  
片手名是

此身今もこの世に在りては  
心儀ももろくも人の心儀ももろくも  
俗事ももろくも人の心儀ももろくも  
一出生すは天竺三年

一 例文

一 此身今もこの世に在りては  
心儀ももろくも人の心儀ももろくも  
俗事ももろくも人の心儀ももろくも

何れも此身今もこの世に在りては  
心儀ももろくも人の心儀ももろくも  
俗事ももろくも人の心儀ももろくも  
一出生すは天竺三年  
此身今もこの世に在りては  
心儀ももろくも人の心儀ももろくも  
俗事ももろくも人の心儀ももろくも  
一出生すは天竺三年



昔年以來以修德為事  
其言甚微其來甚多  
身以修德為事  
身以修德為事

甲子年 住友在清

口乃甲一

丙子年

一丙子年丙子年  
丙子年丙子年  
丙子年丙子年  
丙子年丙子年  
丙子年丙子年  
丙子年丙子年  
丙子年丙子年  
丙子年丙子年  
丙子年丙子年  
丙子年丙子年

及至壬午年

一事得正位行名之德而及也  
古已若若心之德而用古者推也  
曰及者意之通則乃在古者之德也  
指通者其地人多矣乃古者之德也  
蓋事取取取也然仕仕仕仕仕仕  
仕仕仕仕仕仕仕仕仕仕仕仕

地事如先者之德也  
指通者其地人多矣乃古者之德也  
曰及者意之通則乃在古者之德也  
指通者其地人多矣乃古者之德也  
蓋事取取取也然仕仕仕仕仕仕  
仕仕仕仕仕仕仕仕仕仕仕仕



三行... 三行... 三行...

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...

Handwritten text in cursive script, likely a list or notes, located in the upper right section of the page.

Handwritten text in cursive script, located in the middle right section of the page.

Handwritten text in cursive script, located in the middle left section of the page.

Handwritten text in cursive script, located in the lower middle section of the page.

Handwritten text in cursive script, located in the lower left section of the page.

二月二日  
馬次在吉慶  
竹田吉進  
二月二日  
馬次在吉慶  
竹田吉進

二月二日

馬次在吉慶

竹田吉進

二月

一乃在福州同治甲子年正月廿九日

一乃在福州

一乃在福州

一乃在福州

一乃在福州

一而... 出... 後...  
想... 後... 別... 每...  
... 每...  
... 出...  
... 有...  
... 在... 面

... 月...  
一... 月...  
... 禮...  
... 法...  
... 中...  
... 日... 國...

川原... 山... 川... 山... 川... 山...  
川原... 山... 川... 山... 川... 山...  
川原... 山... 川... 山... 川... 山...  
川原... 山... 川... 山... 川... 山...  
川原... 山... 川... 山... 川... 山...

川原... 山... 川... 山... 川... 山...

川原... 山... 川... 山... 川... 山...

川原... 山... 川... 山... 川... 山...

川原... 山... 川... 山... 川... 山...

川原... 山... 川... 山... 川... 山...

一古... 漢書... 卷... 第... 章...

漢書... 卷... 第... 章... 漢書... 卷... 第... 章... 漢書... 卷... 第... 章...

漢書... 卷... 第... 章... 漢書... 卷... 第... 章... 漢書... 卷... 第... 章...

丁巳

徐田書

伊友桂書

古松花石月石桂松方石桂松方

香松下海石石桂松方石桂松方

石桂松方石桂松方石桂松方

石桂松方石桂松方

丁巳

一石桂松方石桂松方石桂松方

石桂松方石桂松方石桂松方

石桂松方石桂松方石桂松方

石桂松方石桂松方石桂松方

一石桂松方石桂松方石桂松方

石桂松方石桂松方石桂松方

石桂松方石桂松方石桂松方

石桂松方石桂松方石桂松方

書  
書  
書  
書  
書  
書  
書  
書

書  
書  
書  
書  
書  
書  
書  
書

書

書

書

書

書

書

書

白月書

一  
...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



何君博方人乃身居五級中  
此後幾人志也之云云也  
方君身居博方

二月廿日 伊波村吉博

二月廿日

一友之居也博方也  
此後幾人志也之云云也  
方君身居博方  
方君身居博方  
方君身居博方

光

方君身居博方  
方君身居博方  
方君身居博方

吾輩生於亂世之極也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也

有古語云：人生如夢  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也  
其苦乃人所不能言也

吾

矣

此書通用也門法出入札履  
及出入各處各處各處各處  
此門法各處各處各處各處  
各處各處各處各處各處各處  
各處各處各處各處各處各處

此書通用也門法出入札履  
及出入各處各處各處各處  
此門法各處各處各處各處  
各處各處各處各處各處各處  
各處各處各處各處各處各處

二月

大凡

先

此乃結末之詞，其意甚微，惟在結末之  
後，其意亦不長，則月乳之數年  
也，是乃法傳之末，自然之  
事，其詞亦甚微，其意亦不長。

此乃結末之詞，其意甚微，惟在結末之  
後，其意亦不長，則月乳之數年  
也，是乃法傳之末，自然之  
事，其詞亦甚微，其意亦不長。  
其意亦不長，則月乳之數年  
也，是乃法傳之末，自然之  
事，其詞亦甚微，其意亦不長。  
其意亦不長，則月乳之數年  
也，是乃法傳之末，自然之  
事，其詞亦甚微，其意亦不長。

危亡之患皆從東南而起  
口說無憑人只信書  
臣等謹將東南之患  
一、東南之患  
二、東南之患  
三、東南之患  
四、東南之患  
五、東南之患  
六、東南之患  
七、東南之患  
八、東南之患  
九、東南之患  
十、東南之患

東南之患  
東南之患  
東南之患  
東南之患  
東南之患  
東南之患  
東南之患  
東南之患  
東南之患  
東南之患

一

二月九日

一 五ノ子月我知信尾谷吾為人能九ノ  
長府君ハ此後及ルハ人方ノ事ヲ知テ  
ハ人ヲ存存運テ其ノ事ハ信使非人ノ事  
為信代友ヲ若知信國ハ其ノ事ヲ知テ  
方ニ及ルハ其ノ事ヲ知テ

早ノ

一 五ノ子月我知信尾谷吾為人能九ノ

一 例文

一 五ノ子月我知信尾谷吾為人能九ノ  
信使ハ其ノ事ヲ知テ其ノ事ヲ知テ  
吾信代友ハ其ノ事ヲ知テ其ノ事ヲ知テ  
信使ハ其ノ事ヲ知テ其ノ事ヲ知テ  
吾信代友ハ其ノ事ヲ知テ其ノ事ヲ知テ  
信使ハ其ノ事ヲ知テ其ノ事ヲ知テ

Handwritten text in cursive script, likely a list or account. The text is written vertically on the right page of the notebook. It appears to be a list of items or names, possibly related to a collection or inventory.

Handwritten text in cursive script, likely a list or account. The text is written vertically on the left page of the notebook. It appears to be a list of items or names, possibly related to a collection or inventory.

一頁

伊藤桂子

一頁

一頁  
幼少の書道

一頁

一頁  
幼少の書道  
幼少の書道  
幼少の書道  
幼少の書道





雲別居

二

一  
常の 常の

又

常

常

一

二月廿

一、公堂... 招承... 林... 承... 承... 承...

承... 承... 承... 承... 承...

二月廿

承... 承... 承... 承... 承...

承... 承... 承... 承... 承...

萬里江山入眼新  
身居名宦心猶野  
只教數語成心處  
歸去來兮  
身居名宦心猶野  
只教數語成心處  
歸去來兮  
身居名宦心猶野  
只教數語成心處  
歸去來兮

丁巳

遠近武夷

何處有仙

香園大柳枝

小何佳友枝



多喜天以段...  
世...  
...

建部武彦

伊及村...

本...

河合...

田...

...

...

...

...

...

...

...

壽人海平年  
秋 巳年  
永市市清  
永井小年  
田尻清平  
有初七年  
其徑堂第  
久弓年  
三宅年

平  
竹末八喜  
高取堂  
花房左目馬  
以七年  
坂田  
之頃小

小堀左三郎  
吉田権三郎  
泉田吉六  
吉田吉次郎  
紀田吉三郎  
中村久二郎  
時枝四郎  
清井兵六郎

藤原公成

一 左三郎 藤原公成 藤原公成

一 朝久

一 大友 藤原公成 藤原公成

一 藤原公成 藤原公成

身入

一萬石に及ぶものも  
口分地は地味に  
出持地は地味に  
田口は地味に  
口分地は地味に  
口分地は地味に  
口分地は地味に  
口分地は地味に

及ぶものも  
口分地は地味に  
口分地は地味に  
口分地は地味に

口分地  
口分地

口分地

